

ExLook にログオンできず、ExLook イベント ID2105 が記録される問題

1. 対象製品

ExLook Infinity

2. 現象

ExLook にログオンを試みた際にログオンに失敗し、ExLook イベントログに以下のイベントが記録されます。

ログの名前:ExLook ソース:ExLookInfinity イベント ID:2105 説明: ログオンに失敗しました。 Exchange サーバーへの接続に失敗しました。 ログオンユーザー:Administrator サイト:exlook ドメイン:exlook.com Exchange URL:https://infinity.exlook.com/EWS/Exchange.asmx ソース:System.Web.Services エラーメッセージ: 基礎になる接続が閉じられました: SSL/TLS のセキュリティで保護されているチャンネルに対する信頼関係を確立できませんでした

3. 原因

ExLook はメールボックスの情報を取得する際、Exchange Web Services を利用しております。

この現象は、ExLook サーバーが Exchange クライアントアクセスサーバーの証明書を信頼できないために、Exchange Web Services を用いて Exchange

クライアントアクセスサーバーと SSL 通信ができないことに起因します。

4. 回避方法

ExLook サーバーの ExLook ログに上記のイベントが記録されている場合、以下のそれぞれの接続先の Exchange クライアントアクセスサーバーに適したコンピュータ証明書を ExLook サーバーにインストールすることで SSL 通信が確立でき、本現象を回避することが可能です。

ご不明な点等ございましたら、ご購入元か弊社担当者までお問い合わせ下さい。

◇ExLook の接続先が Microsoft Exchange Online の場合

Microsoft Exchange Online の Exchange クライアントアクセスサーバーにはルート証明書が発行されており、ExLook から接続するためには同じルート証明書を ExLook サーバーに追加する必要があります。

このルート証明書は更新プログラムとして Microsoft 社から配布されているため、Windows Update 等からルート証明書の更新プログラムを含むセキュリティ更新プログラムを最新の状態にして、ルート証明書を追加します。

◇ExLook の接続先が自社運用の Exchange サーバーの場合

自社運用している Exchange クライアントアクセスサーバーに第三者の商用証明機関、もしくは自社内の証明機関からルート証明書が発行可能な場合、[コンピュータ証明書の要求]等を行い ExLook サーバーに対してルート証明書を発行します。

前述の証明機関が利用できない場合、Exchange クライアントアクセスサーバーをインストールした際に既定で発行される自己署名証明書、または Exchange クライアントアクセスサーバーから発行した自己署名証明書をエクスポートします。

なお、ExLook サーバーに証明書を追加する際には[証明書のインポートウィザード]で、配置するストアとして[物理ストア]の以下のストアを選択します。

[信頼されたルート証明機関¥ローカルコンピュータ]

恐れ入りますが上記のいずれの場合にも、回避方法を実施したにも関わらず同じイベントログが記録される場合は、別途担当営業、または弊社サポートまでお問い合わせください。

ご不明な点等ございましたら、ご購入元か弊社担当者までお問い合わせ下さい。

ExLook に関するお問い合わせ先 : product-exlook@bbsystem.co.jp